室町時代

名前

問1　鎌倉時代から室町時代にかけて、和人とアイヌの人々との間で行われた交易や当時の社会状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. 西日本を中心に、干害に強い大唐米の栽培や二毛作が広がり、用水路管理のための組織化も進んだ。
2. 交易の対価として日本からは大量の銀が輸出され、アイヌの人々を通じて中国の特産品が大量に輸入された。
3. アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。
4. アイヌの人々との交易を独占するため、幕府は全国に五人組を組織して農民の行動を厳しく制限した。

問2　13世紀後半に元（モンゴル帝国）を訪れたヴェネツィア出身の商人で、その見聞録の中で日本を「黄金の国ジパング」としてヨーロッパへ紹介し、後の大航海時代にも大きな影響を与えた人物は誰ですか。（2024年 愛媛県公立入試 類似）

1. マルコ・ポーロ
2. マゼラン
3. イブン・バットゥータ
4. ヴァスコ・ダ・ガマ

問3　足利義満が開始した勘合貿易（日明貿易）について、この貿易が始まった主な国際的背景は何か。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 明が日本に対して倭寇の取り締まりを求めた
2. ポルトガル商人が日本との通商を希望した
3. 日本国内で明の貨幣である宋銭が不足していた
4. 元が日本への再度の襲来を計画していた

問4　室町時代に成立した「能」とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 出雲の阿国が始めた歌舞伎踊りがもととなり、庶民の間で広く親しまれるようになった。
2. 足利義政の時代に、禅宗の影響を強く受けた簡素で深みのある東山文化の一部として完成した。
3. 遣唐使が廃止された後の国風文化の中で、貴族のたしなみとして独自の発展を遂げた。
4. 足利義満の保護を受け、観阿弥・世阿弥がそれまでの芸能を芸術性の高いものに仕上げた。

問5　16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 文禄・慶長の役
2. 北虜南倭
3. 下剋上
4. 鎖国令

問6　室町幕府の政治体制において、足利氏の一門である有力な守護大名が任命され、将軍に次ぐ立場として幕府の政務を統括した最高職を何といいますか。（2019年 山口県公立入試 類似）

1. 管領
2. 摂政
3. 老中
4. 執権

問7　室町時代に農村で形成された自治組織である「惣」の活動内容や当時の社会背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 江戸幕府の命令により、キリスト教の禁止や年貢の納入を徹底させるため、近隣の数軒を一つの単位として連帯責任を負わせた。
2. 領主が支配を強めるために有力な農民を村役人に任命し、年貢の取り立てや裁判のすべてを幕府の代わりに行わせた。
3. 朝廷や幕府の公認を得て、特権的な販売独占権を持つ商工業者の集団として、市場での自由な取引を制限した。
4. 農業生産力の向上を背景に、農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、水利の管理や入会地の共同利用を自主的に行った。

問8　室町時代の外交において、三代将軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった
2. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した
3. 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ
4. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った

問9　室町幕府の第3代将軍・足利義満が明の皇帝との間で行った貿易について、その形式と義満が授かった称号の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 民間の商人が自由に行き来する「自由貿易」の形式で、義満は「太政大臣」として貿易を監督した
2. 明の皇帝へ貢ぎ物を送り、返礼品を受け取る「朝貢（ちょうこう）」の形式で、義満は「日本国王」の称号を得た
3. 武家政権の代表として対等な立場で交渉する「和親」の形式で、義満は「征夷大将軍」の称号を認められた
4. 仏教の経典や制度を学ぶための「遣明使」の形式で、義満は「日本国総帥」の称号を名乗った

問10　中世の農業において、家畜の利用や二毛作の普及によって農業生産力が向上したことは、当時の社会にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明した報告において、農業と他の産業との関わりに触れた内容として適切なものを次から選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 農業生産の余力がすべて海外輸出に回されたため、国内では極端な米不足が続き、鎖国体制が築かれた。
2. 食料が自給自足で完結するようになったため、貨幣の使用が禁止され、物々交換の経済へと逆戻りした。
3. 農民のすべてが武士階級へと格上げされたことで、兵農分離が徹底され、強力な中央集権国家が成立した。
4. 余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。

問11　山城国一揆において、地域の武士や農民が守護大名を追放した後に成立した「自治」の仕組みや目的について述べた文として、背景を含めて正しく説明しているものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 海外との貿易権を独占するために有力な商人たちが都市を形成し、堺のような自由都市の運営を目指した。
2. 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。
3. 幕府の命令に従わない守護大名を処罰するため、将軍の許可を得て一時的に地域の統治権を代行した。
4. キリスト教の信仰を軸として領主の圧政に抵抗し、信者同士の平等な共同体を築くことを目的とした。

問12　後醍醐天皇が吉野（奈良県）へ逃れて南朝を立て、京都の北朝と対立した「南北朝の動乱」の時期の社会情勢を説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 平氏による一門独裁への不満が高まり、源頼朝が鎌倉に幕府を開いて全国に守護・地頭を派遣し始めた。
2. 中央集権的な律令制度が再び強化され、すべての土地と人民を天皇が直接支配する公地公民の原則が全国で徹底された。
3. 徳川氏による安定した治世が確立され、参勤交代の制度によって地方の武士が江戸に集住し、平和な都市文化が発展した。
4. 長期にわたる戦乱の中で、各地の守護が領国支配を強める一方で、農民も惣を結成して自衛を行うなど社会が大きく変化した。

問13　15世紀初めに統一された琉球王国の拠点である首里城の所在地について、日本列島周辺の地理的区分に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 山陽地方の岡山県付近
2. 九州南部の鹿児島県付近
3. 南西諸島の沖縄県付近
4. 北東北の岩手県付近

答え合わせ・解説

問1	答え 3 アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。	中世において、北海道を中心に独自の文化を築いていたアイヌの人々は、和人と盛んに交易を行いました。アイヌ側からは鮭、昆布、アザラシなどの毛皮といった北方の豊かな特産品が提供され、これらは和人の商船などによって京都をはじめとする各地へ運ばれ、当時の人々の食生活や文化を支える重要な役割を果たしました。
問2	答え 1 マルコ・ポーロ	ヴェネツィアの商人であるマルコ・ポーロは、元の皇帝フビライ・ハンに仕えた際の見聞を『東方見聞録（世界の記述）』としてまとめました。この著書の中で、日本は宮殿や民家が黄金でできている島国として紹介され、当時のヨーロッパの人々に東洋への強い関心を与えました。
問3	答え 1 明が日本に対して倭寇の取り締まりを求めた	当時、東シナ海周辺では倭寇（海賊）が活動しており、明はこれに苦慮していました。明は足利義満に対して倭寇の鎮圧を条件に貿易を認め、義満はこれに応じる形で「日本国王」として朝貢形式の貿易を開始しました。この際、正式な貿易船の証明として「勘合」が使用されました。
問4	答え 4 足利義満の保護を受け、観阿弥・世阿弥がそれまでの芸能を芸術性の高いものに仕上げた。	能は、三代将軍である足利義満が観世座の観阿弥・世阿弥親子を見出したことで大きく発展しました。江戸時代に盛んになった歌舞伎や、足利義政の時代の銀閣に象徴される東山文化、平安時代の国風文化とは、時代背景や主な保護者が異なります。
問5	答え 2 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。
問6	答え 1 管領	室町幕府において将軍を補佐する最高職であり、細川・斯波・畠山の三氏が交代で就任したことから「三管領」とも呼ばれます。鎌倉幕府の執権、江戸幕府の老中に相当する役職ですが、有力な守護大名がその職に就き、幕政を左右した点が室町幕府の大きな特徴です。
問7	答え 4 農業生産力の向上を背景に、農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、水利の管理や入会地の共同利用を自主的に行った。	室町時代の農村では、灌漑施設の管理や山野（入会地）の利用、さらには村の防衛などを自分たちで行う必要が生じました。これらを運営するために結成されたのが惣です。惣の団結力が強まると、領主に対して年貢の減免を要求したり、借金の帳消しを求める「土一揆」へと発展することもありました。
問8	答え 3 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問9	答え 2 明の皇帝へ貢ぎ物を送り、返礼品を受け取る「朝貢（ちょうこう）」の形式で、義満は「日本国王」の称号を得た	足利義満は、幕府の経済基盤を強化し権威を高めるため、当時の中国の国際秩序であった冊封（さくほう）体制に加わりました。明の皇帝から「日本国王」という称号を授かり、臣下の礼をとることで、形式上は皇帝に貢ぎ物を捧げる「朝貢」という形で貿易を行いました。この貿易は幕府に莫大な利益をもたらし、室町文化の発展を支える資金源となりました。
問10	答え 4 余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。	農業生産力が向上して生活に余裕が生まれると、農民は自分の家で使う分以外の作物や、特産品を売買するようになりました。これにより、手工業品や特産物を扱う商業が盛んになり、寺社の門前や交通の要所に人々が集まって定期市が開かれるなどの社会変化をもたらしました。
問11	答え 2 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。	山城国一揆の最大の特徴は、守護大名という外部勢力の介入を拒絶し、地域の武士や農民が自らの手で平和と秩序を維持しようとした点にあります。彼らは「三十六人衆」と呼ばれる代表者を選び、自分たちで掟（法）を定め、裁判や税の管理を行うなど、国家の機能を地域住民が代替する「自治」を行いました。これは室町時代後半の自立的な社会構造の変化を示しています。
問12	答え 4 長期にわたる戦乱の中で、各地の守護が領国支配を強める一方で、農民も惣を結成して自衛を行うなど社会が大きく変化した。	約60年に及ぶ南北朝の動乱期には、軍事指揮権を持つ「守護」が、その地域の武士を家臣化して領国支配を強める「守護大名」へと成長していきました。同時に、絶え間ない戦火から自分たちの生活を守るため、農民たちが「惣」を作って団結するなど、身分の上下が入れ替わる「下剋上」の風潮とも結びつく社会の構造変化が起きました。
問13	答え 3 南西諸島の沖縄県付近	首里城は現在の沖縄県那覇市に位置しています。岩手県付近は奥州藤原氏、鹿児島県付近はのちに琉球へ侵攻することになる薩摩藩の拠点であり、首里城の歴史的背景とは異なります。南西諸島に位置する沖縄は、東アジアの海上交通の要所でした。